

Snow globe

fanbook of Free! #02
Haruka Nanase♡Rin Matsuoka



for
adult
only

18

そういうお前は
どうなんだよ、ハル！



俺は
……

俺か…？



先の事はまだ分からぬ

ただ…

今はみんなと
泳げることが
嬉しいんだ

ハル！

ボヤボヤしてつと
置いてつちまうぞ！

何故だらう…

この時の凛の言葉には
深い意味なんて
なかつたのかもしれない。

けれど、俺は不安で
仕方なかつた。

凛がまた俺の前から
居なくなつてしまふのでは
ないか、

どこか手の届かない所へ
行つてしまふのではないかと：

ハル！

凛ともつと
一緒に居たい。

早く来い！



奉納
かに釣り会

かに祭り

奉納
いわどび会

カニ祭り

カニと地獄
開催!
岩鳶

10月11.12日

よし!
次の勝負だ、ハル!

どこまでも
付き合つてやる!

だんだん
馬鹿らしく
なってきた…

そうだね

そろそろ…
帰りませんか?

だから…!
愛ちゃんじゃ
ありません!

結果は明日
メールで教えて?
愛ちゃん

受け

ハルー
次は早食い

それもそうだね！
凛ちゃんの外泊届け
愛代わりに出してあげてよ、
ちゃんと！

寮に戻っただけでも
いいんじゃないかな？

あの二人の決着を
何待つてたら
分かち時になるか
からないだろうし

お兄ちゃん！
先に帰るからね！

そ…
そうですね…

先輩…

さあ、帰ろ帰ろー！

また愛ちゃんって
言いましたよね！？

つて…！

やっぱり
七瀬さんと
一緒に時が
一番楽しそう…

お兄ちゃん！
先に帰るからね！





おっ！

会えない時間が
長かつただけだ

凛もだろ…？

四年って……

……確かに
長いよな

月きれーだな

ああ

今なら
言える気がした

伝えなくちゃ
いけないと
思った

笑聞いたらお前は
うかもしれないけど…

凛に再会して
気づいた気持ち、
大切な言葉：

約束した訳でもないのに
手紙が届くんじやないかって
毎日ボストも覗いた…

家の電話が鳴る度に、
凛からなんじやないかって
妙に落ち着かなかつたり…

期待してたんだ。

俺はお前から連絡が
来るのをずっと待つてた。

凛が留学した時…

ん？

別に凛を
責めたい訳じやない

怜から
少し聞いてる

なんか
悪かつたな…
それは俺が

意外すぎて
想像できねえ…



中学一年の勝負の後、
このままもう二度と
凛に会えなかつたらと
思うと苦しかつた。

それから競泳は
辞めたけど、
結局俺はお前の帰りを
待つていた。
待つしか出来なかつた…



凛のことが好きなんだ。
あの時からずっと

ハル：
冗談ならそれ、
全然笑えねえよ



俺は凛が好きで、
きっとこれから先も
それは変わらない

うん……

冗談で
こんな話は
しない

やっぱり
解つてない

いや……

解つてるけど…

もういい

解つても
俺にはどうにも
できねーだろ。

り……

いくら名前が
女みてえでも

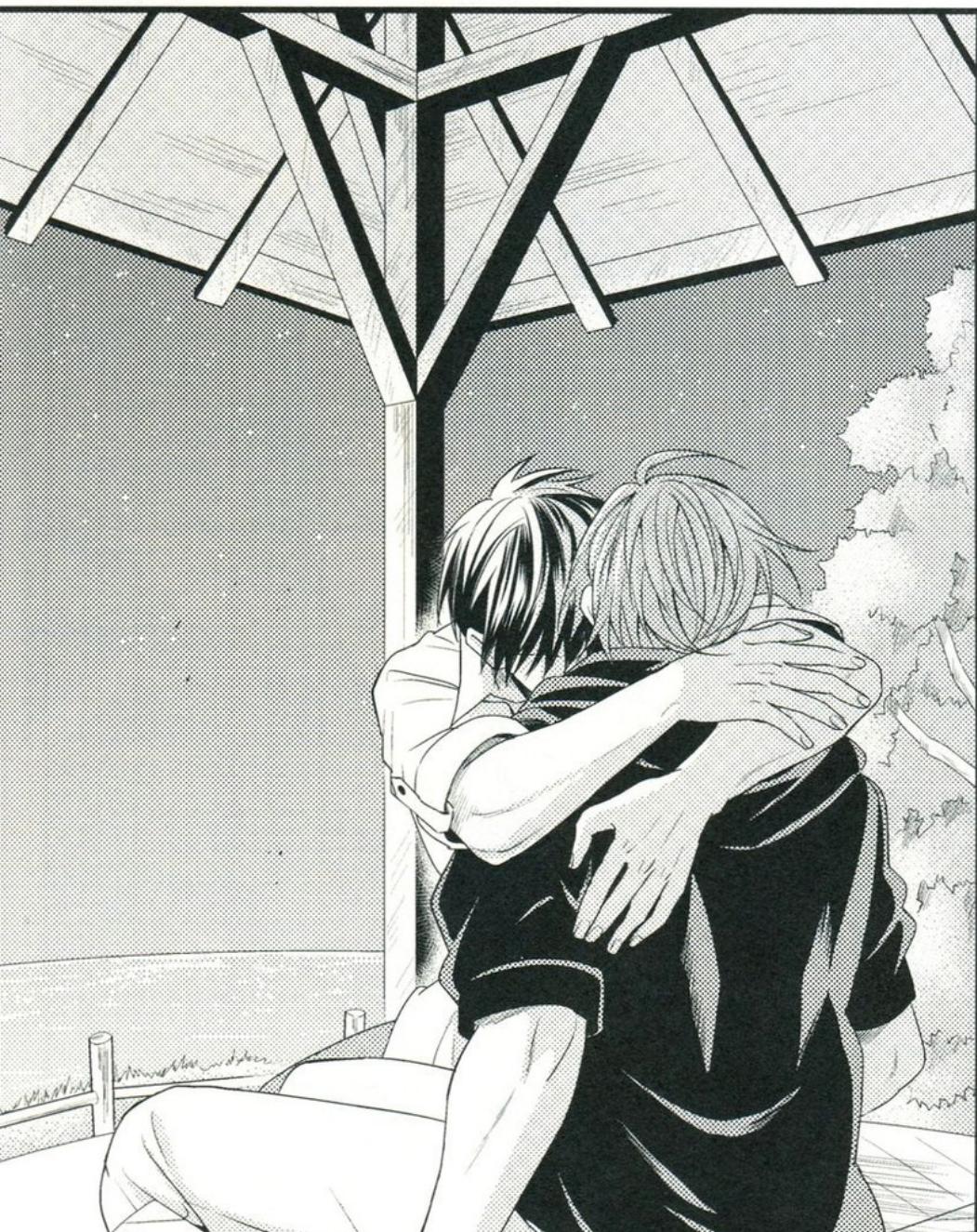
俺…男だぞ…

お前ってさ、
変に純粹なとこあるつづーか
型にはまつてねえつづーか……

友情とかライバル
って関係と
恋愛感情を混同してんじや
ないかって…

そりゃ俺もお前の事は
特別だし

感情に区別なんて
要らねえんじやないかって
思える時もあるけどよ





嫌なら
突き放せばいい



ハル……



それでも俺はきっと
変わらないから



お前それ
ずるいだろ：

四年前は
俺がお前のこと
追いかけるばっかで

全然見向きも
しなかつたくせに…

なかなか名前
呼んでくれねえし

何考えてんだか
わかんねえし…

不安で
悔しかった。

お前の目に俺の姿が
映ってないんじゃないかなって





…じゃあさ、
俺もお前に
言つとくわ…



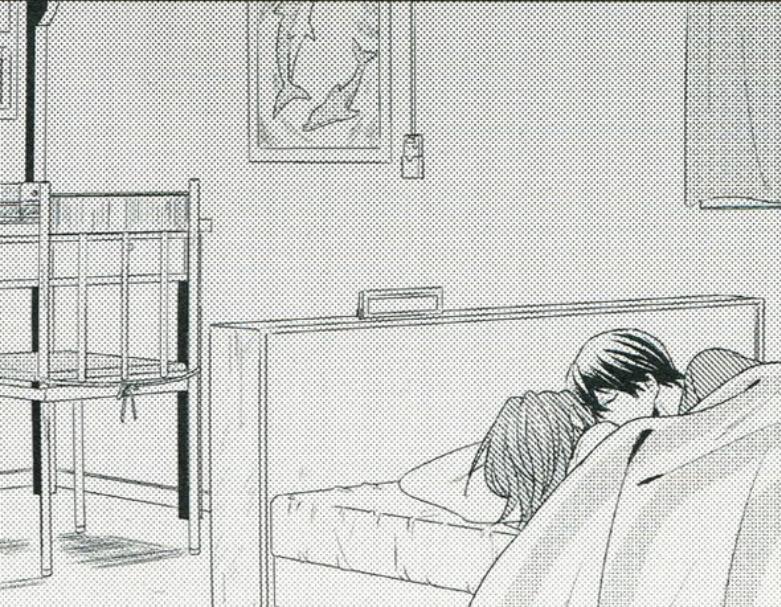
ハルが好きだよ

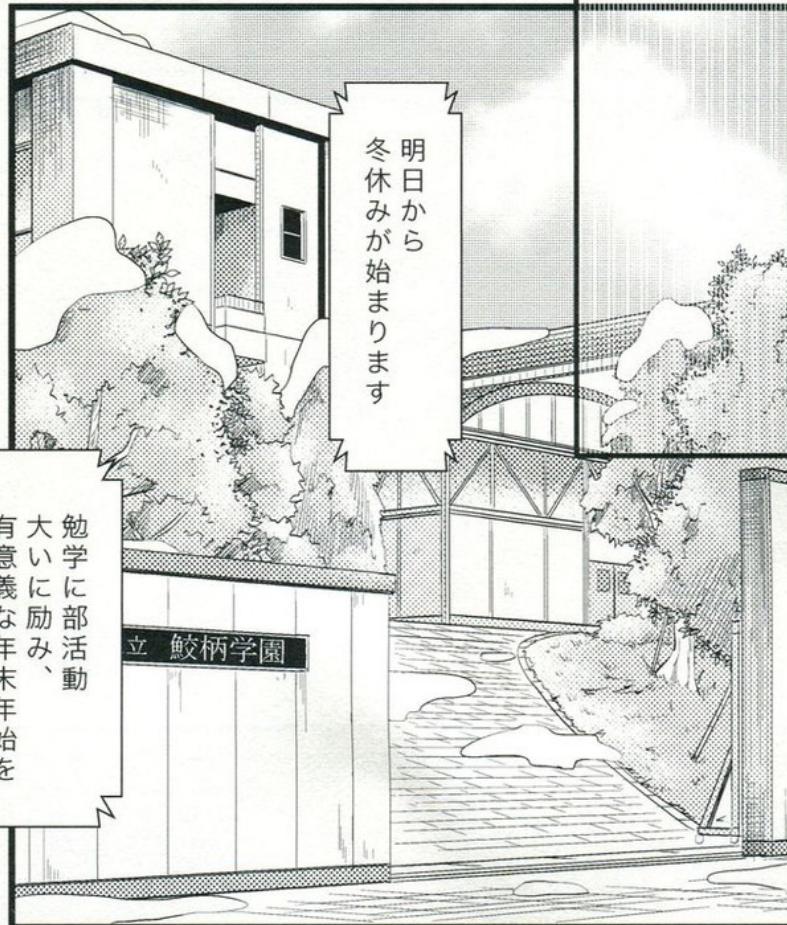
その日は
手を繋いで眠った

凛を繋ぎ止めて
おきたくて
手を離すことが
出来なかつた

時々目を開けては
凛の寝顔を眺めていた。

凛が隣に居たせいか、
俺は珍しく眠れなくて







けど俺から言うのも
何か癪だから

ギリギリまで粘つてやる。

さみつ

あ！凛ちゃん！
いらっしゃーい！

ごめん、凛
まだ飾り付け
終わってなくて…

お兄ちゃん！
早かったね！

どうせ遊んでるから
進んでねーんだろ？

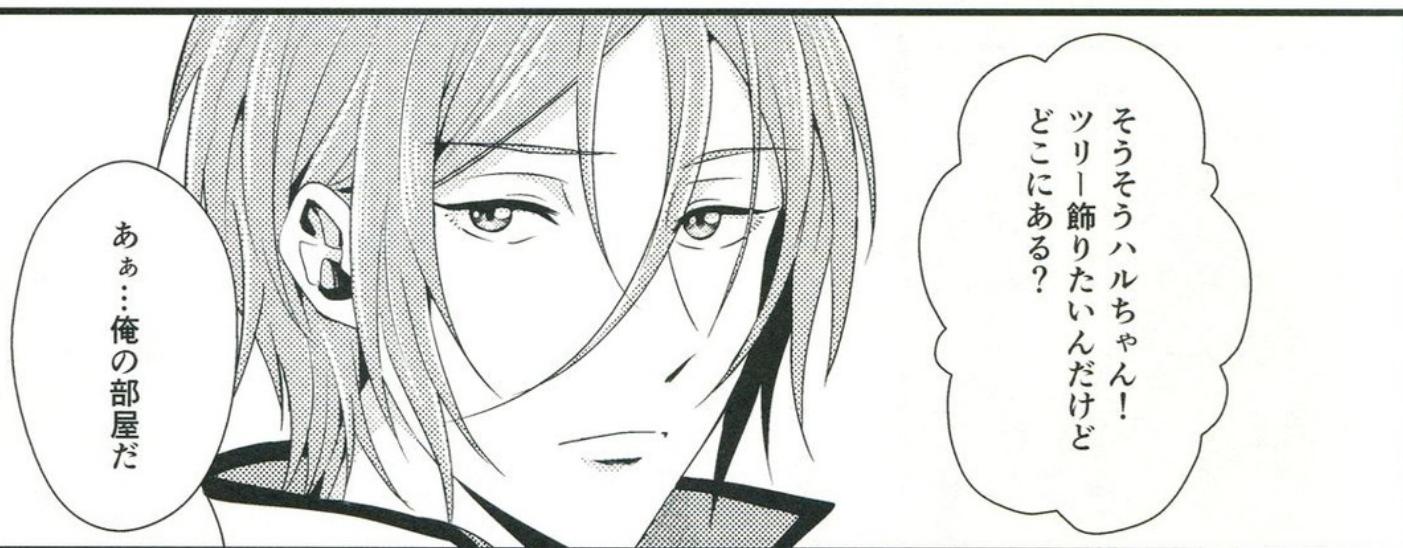
うーんと、料理は
ハルちゃんと怜ちゃんが
やってくれてるから、
飾り付けかな？

そのヒゲでな

ほら、さつさとや
俺も手伝うから。
何やりやいいんだ

えへへ
バレた？

お



運ぶの手伝う

ん?

ハル

危ない、危ない…

いいから
やつて

早く準備しないと
ケーキ食えないぞ

あー!
凛ちゃんだけ
ズルイ!!

なっ! 潜!
これ手伝って

凛…?

ああ、頼む

えー僕もハルち
お部屋訪問した







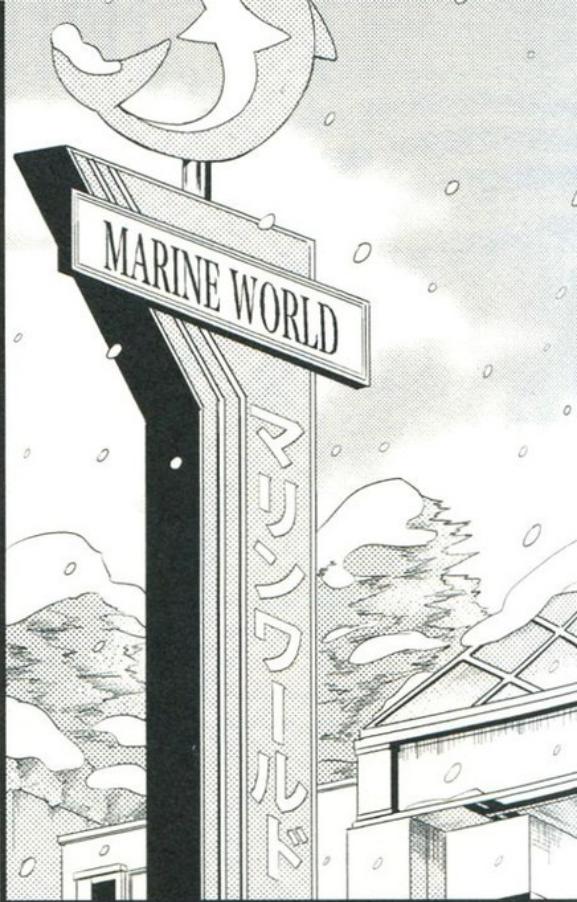


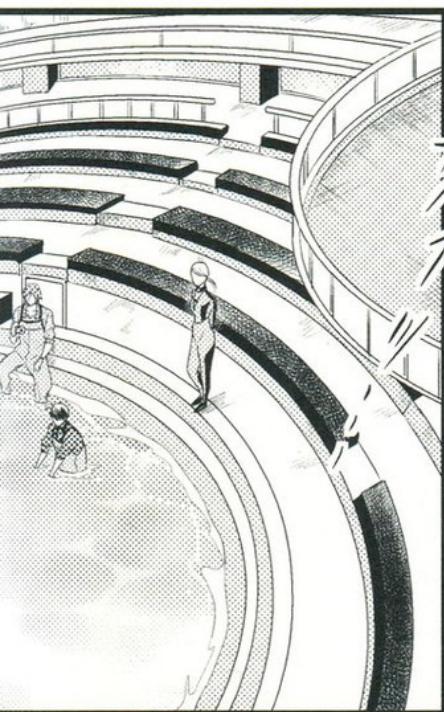


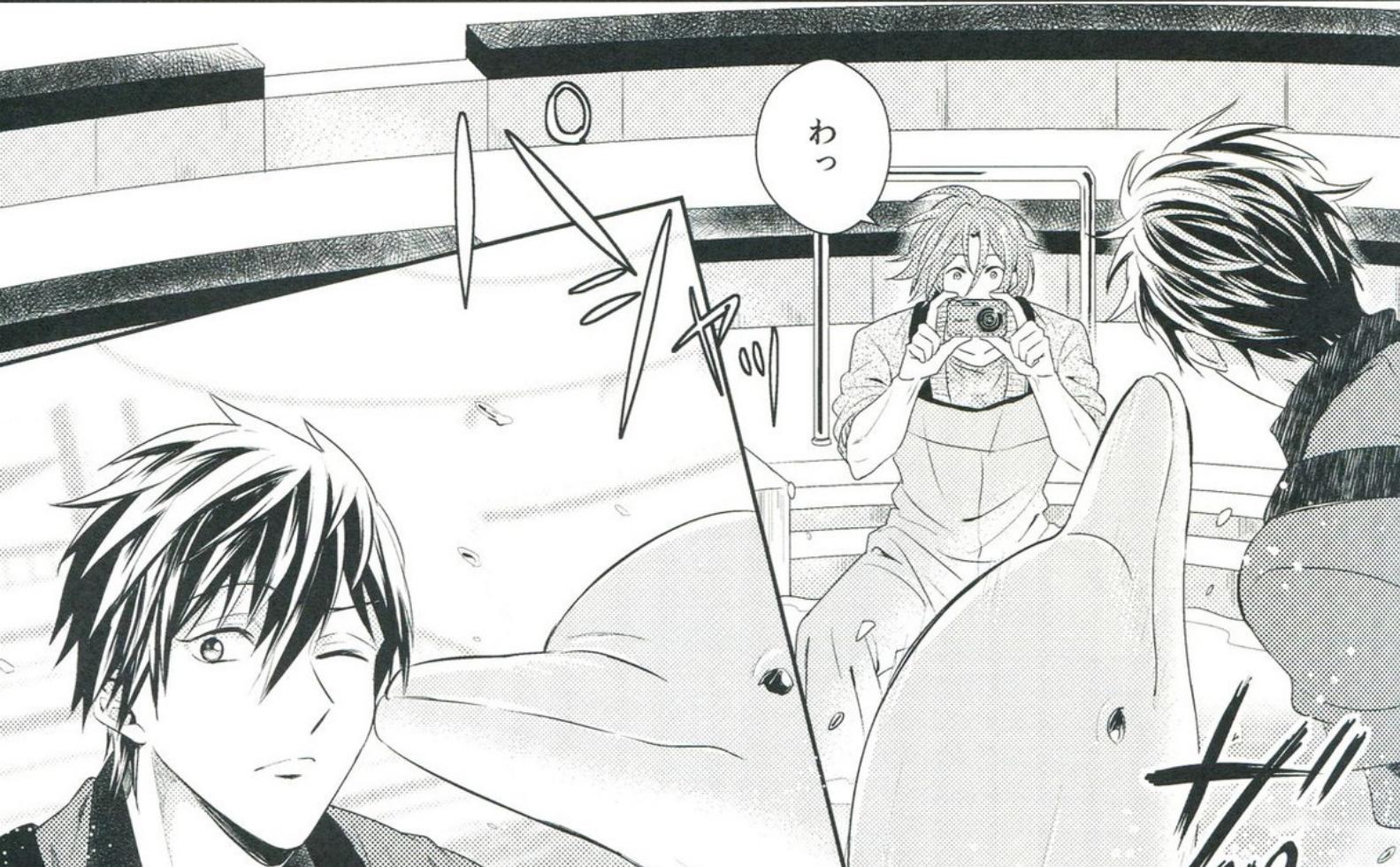
明日のクリスマスは
一人で少し遠くへ
出掛けることにした

こんな面倒な
恋愛をしてる
んだ

この狭い町じゃ
窮屈だ



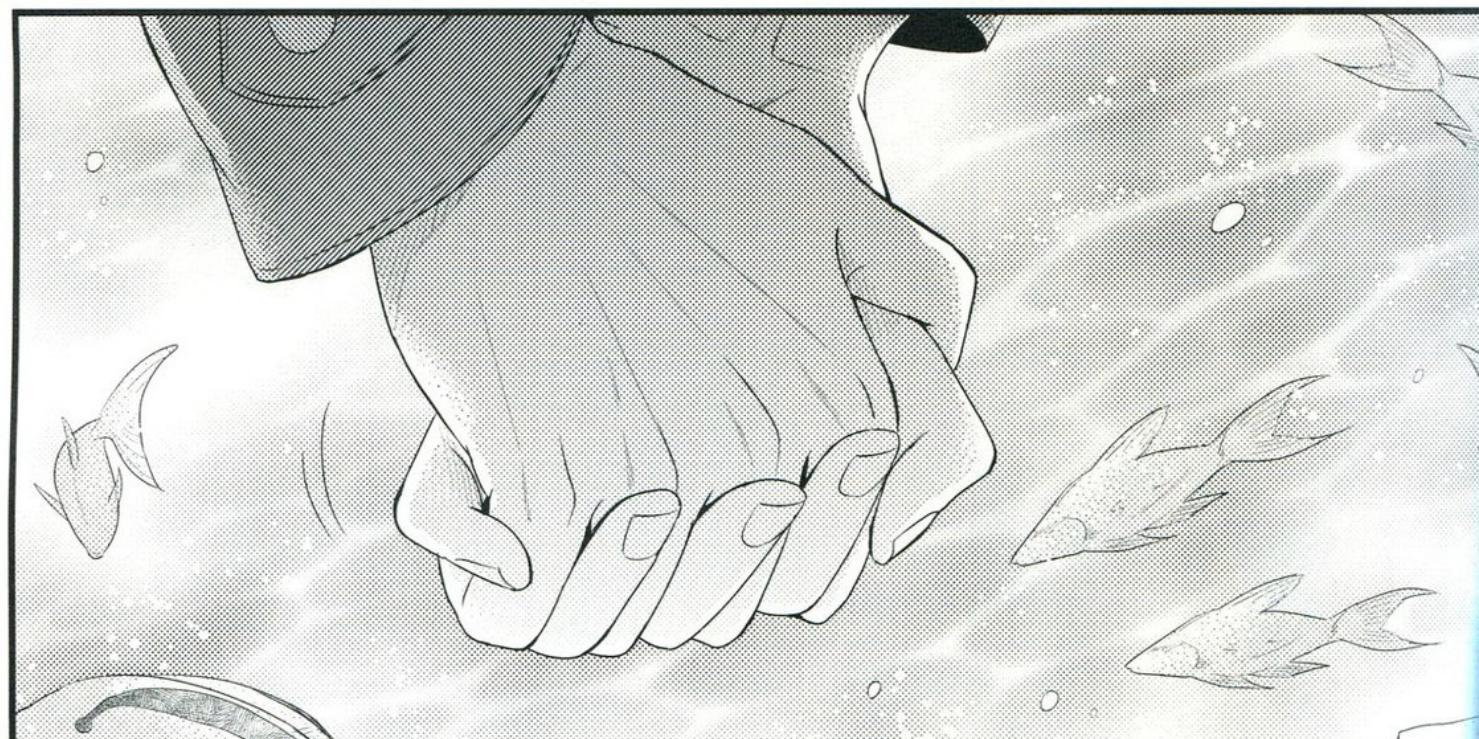


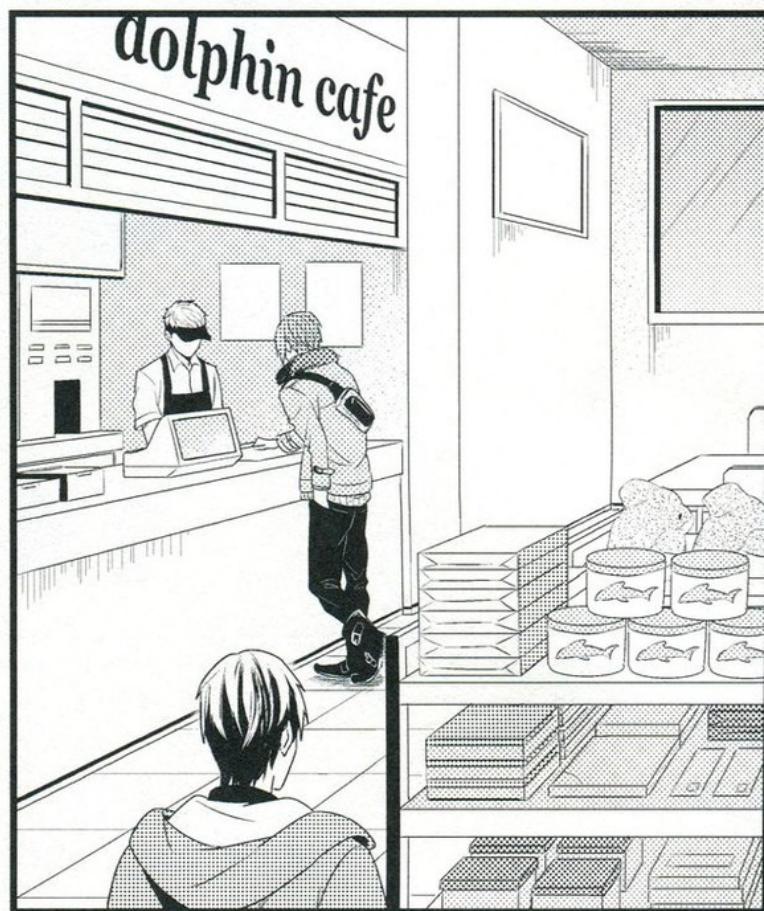


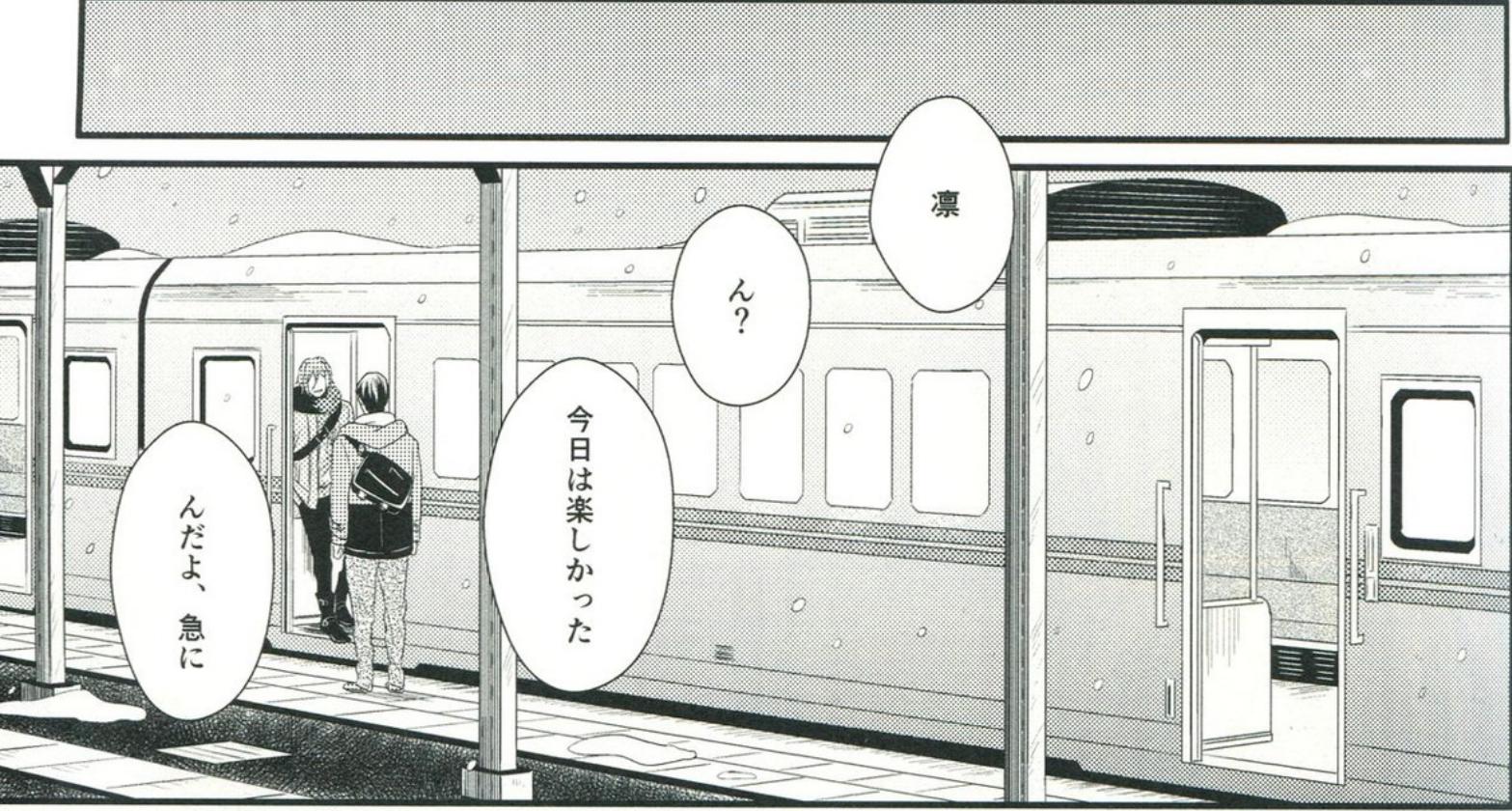


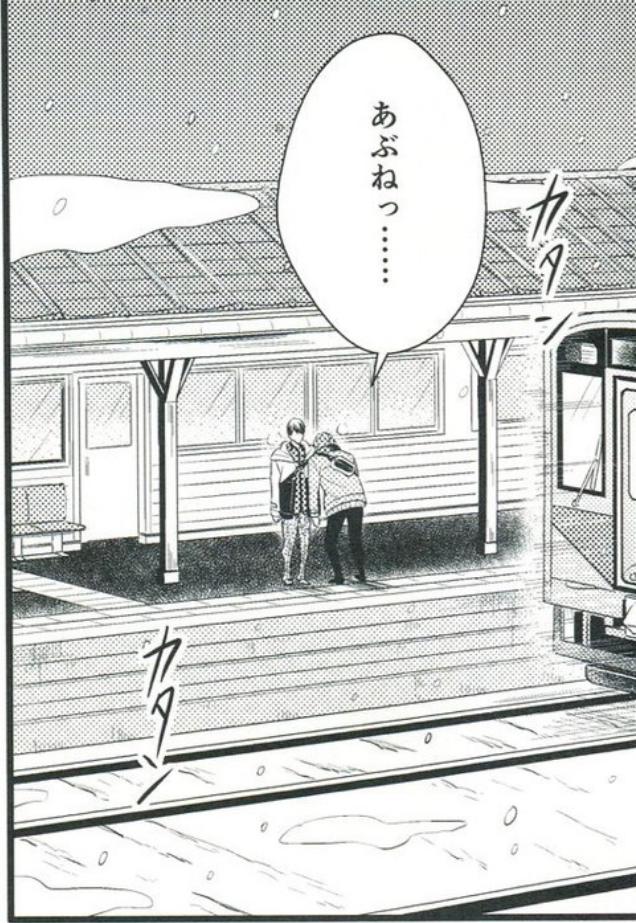


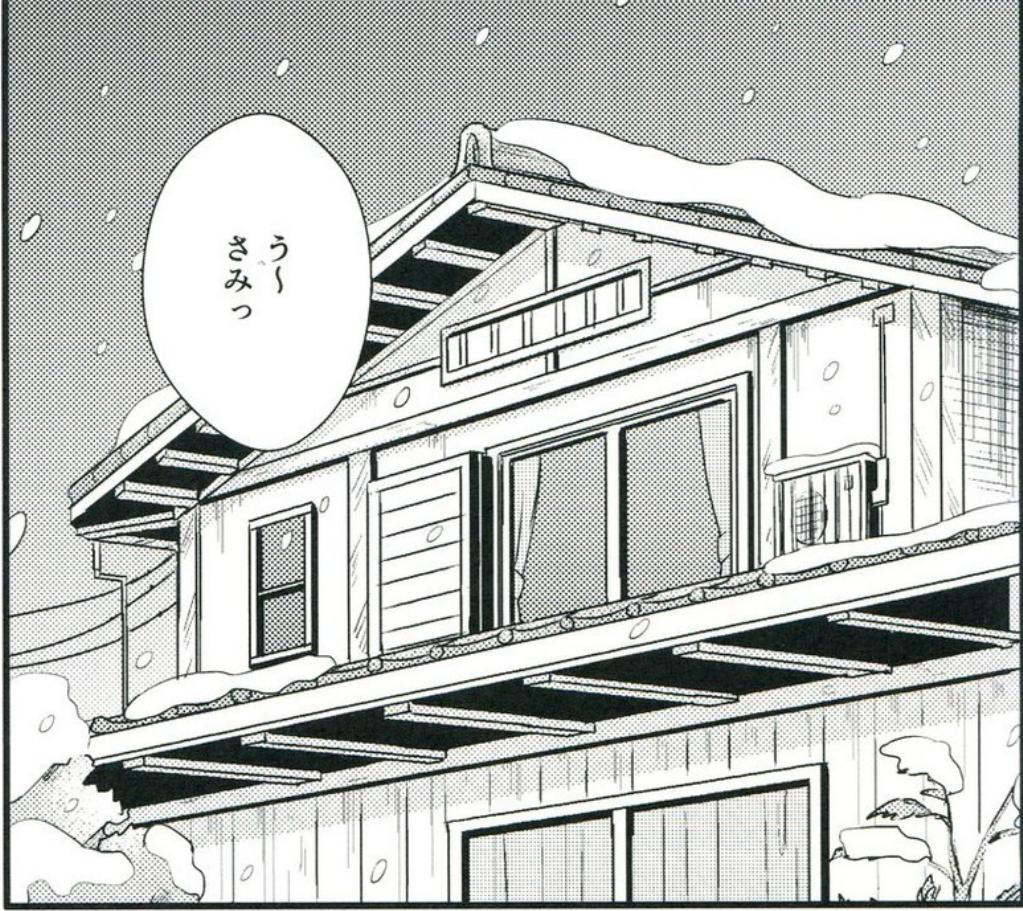
















凛が嫌いやなれば：



どこまで洗えばいいか
わからなかつた……



ハルはああ言つたけど
普段淡白なヤツだから

知識あるとも
思えねえし：
AV見てんの
想像つかねえ：

いや、それは
出産の例えだな：
とにかく落ち着け俺

明日泳げなかつたら
洒落にならねえな

あー多分痛えよな…
鼻からスイカだっけ？

やっぱ俺が
何とかしねえ
駄目だよな？









凛がずっと
水泳続けてたことが
嬉しい



傍に居ると
つい忘れてしまう

お互いに知らない時間が
あつたということ



少しずついいから
埋めていこう。

時間が掛かる
かもしれないけど

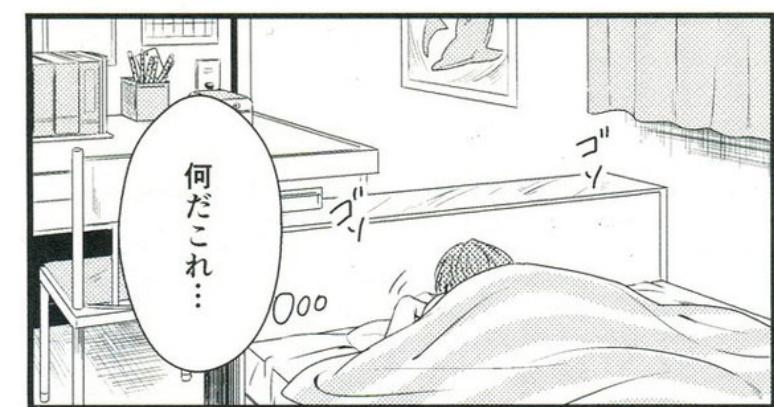
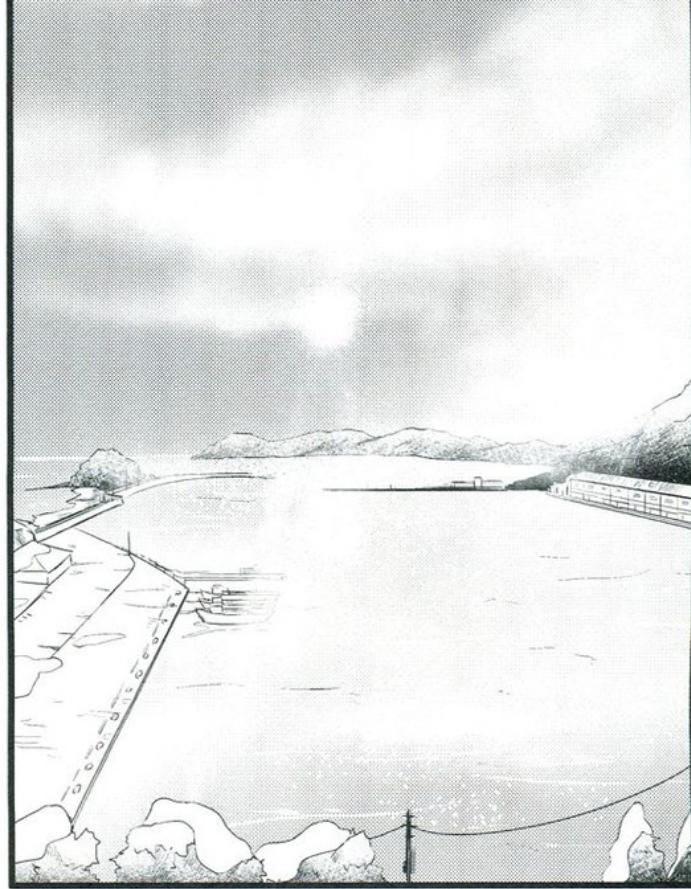












白い髪が生えてなけりや
愛想も良くない



